

# あがた福祉社会

第85回

## 清水友愛の里 クリスマス会

12月20日にふれあいセンターで清水友愛の里のクリスマス会を行いました。

行事スタッフ全員で食事や余興などのアイデアを出し、準備を行いました。前日からの会場準備や事前準備に参加していた担当職員でクリスマスツリーや、各テーブルにクリスマスらしい飾り付けを行いを進めていきました。コロナ禍以降、初めて施設外でのクリスマス会の実施となり、初めて施設外での行事に参加する利用者さんもおり、ふれあいセンターに向かう前からワクワクした様子が見られていました。

全員がふれあいセンターに



到着後、いよいよクリスマス会の始まりです。開会式は施設長の挨拶、利用者による乾杯の挨拶を済ませると、みなさんが楽しみにしていた食事の時間となりました。

食事はア・ターブルのハンバーグカレー、ケンタッキー・ライドチキン、サラダやコーンスープなどのクリスマスらしいメニューを提供しました。食事の終わりにはレーキヒルファームのアイスケーキを提供し、ボリューム満点の料理が並び、アイスケーキの見た目もかわいく、とても好評で最後まで笑顔が絶えない食事の時間となりました。

食事がひと段落した後には、いよいよ余興の時間です。余興ではbingo大会、クリスマス絵合わせ、クリスマスカーリング、クリスマスツリー玉入れを行いました。ビンゴ大会では、1位から5位までにはお菓子の詰め合わせの景品が当たり、当たった利用者さんはとても喜ばれています。クリスマス絵合わせ、クリスマスカーリング、クリスマスツリー玉入れも利用者のみなさんが楽しめる内容であり、とても良い余興となりました。

楽しい時間はあつという間に終わり、閉会式となり、最後は利用者代表のあいさつ、万歳三唱を行い、良い雰囲気で今年最後の行事が幕を閉じました。

25日には利用者みなさんが楽しめたと嬉しい声も聞かれました。利用者一人一人にプレゼントを渡して回りました。利用者が男子棟、女子棟へと行き、員が男子棟、女子棟へと行き、ロースとトナカイに扮した職員が男子棟、女子棟へと行き、利用者一人一人にプレゼントを渡して回りました。利用者からは歓声が上がり、「プレゼントちようだい」「はやくこつちきて」「プレゼントもうらつたよ」などの声も聞かれていきました。欲しかったプレゼントをもらうと、プレゼントをその場で開け、嬉しそうに職員に伝えに来る様子は、いつ見ても良いものだと感ぜました。また、今回は初めて、クリスマス会とクリスマスプレゼントの配布日を別日にすることになりました。



最後になりますが、「クリスマス会」は利用者のみんなが楽しみにしている行事の一つです。今回は施設外での行事が初めての職員も多く、わからないことばかりだったと思うので、今回出た反省点を今後に生かし、年齢や体調面に配慮した中でも、利用者のみなさんが笑顔で、来年は今年以上の内容でより楽しめるクリスマス会を職員一丸となり、実施していくたいと思います。

楽しみが2回あり、利用者のみなさんも喜ばれており、これはこれで良いものだなと思いました。